

## 1 自己紹介

### (1) 経歴

平成 25 年 3 月 関西学院大学法学部法律学科卒業  
平成 25 年 4 月 大阪大学高等司法研究科（既習）入学  
平成 28 年 9 月 大阪大学高等司法研究科卒業  
平成 29 年 9 月 司法試験不合格

### (2) 司法試験成績

1 回目 短答 119 点（2608 位）  
論文 憲 A 行 E 民 A 商 D 民訴 E 刑 E 刑訴 C（1840 位）  
総合 1916 位  
2 回目 短答 144 点（361 位）  
論文 発表待ち

## 2 授業

### (1) 自身の勉強

・・・

### (2) 改善点

授業に対する態度を決める・ファイリング・復習を必ず行う・まとめノートに書き込む

## 3 短答

### (1) 自身の勉強

教材：短答過去問パーフェクト・判例六法

- ・パーフェクトは肢ごとに解き、◎（二度と解かない問題）、○（正解できたが不安な問題）、△（正解した問題）、×（間違えた問題）のマークを書き、次回解くときには前回△、×を付けた肢の復習をしてから進める 計 3 回
- ・判例六法はパーフェクトを解く際にライン入れ・メモをしておき素読。 計 2 回

### (2) 改善点

- ・知識が定着していない段階では問題を解くのではなく、問題を読んですぐ解説を読む。
- ・判例六法へのメモは時間が掛かりすぎる。パーフェクトと判例六法をリンクする必要はなかった。
- ・他の教材の活用

#### 4 論文

##### (1) 自身の勉強

教材：まとめノート・過去問・答練・問題集・百選

- ・1回目受験時 まとめノート 過去問 答練
- ・2回目受験時 過去問 答練 問題集
- ・過去問については1回目2回目ともすべては解けず。問題集については行政法、会社法、民訴、刑法（途中まで）、倒産法しかできず。
- ・問題を解いた後はまとめノートに足りない知識を書き込む。
- ・答練を解いた後はルーズリーフに改善点を書き、まとめノートの後ろにつける。

##### (2) 改善点

- ・勉強の量
- ・早い段階から過去問を解くべき。知識が足りていないから解かないのは間違い。
- ・問題集については各科目1冊でいいから複数回解くべき。一回目は問題見て軽く考えた後に解説を読むだけでいい。
- ・答案作る際には時間は守って、必ず手書きで。

#### 5 全体について

- ・勉強方法は人それぞれ。他者を参考にするのはいいが、比べて不安になる必要はない。
- ・残りの日数×一日の勉強できる時間で残りの勉強できる時間を算出。  
残りの勉強できる時間を各科目に振り分け。  
その時間内でできることを決める。
- ・勉強の量、「Study plus」。

#### 6 本番

- ・失敗することは想定しておく。失敗しても引きずらない。

以上